

取扱説明書

digital monitor

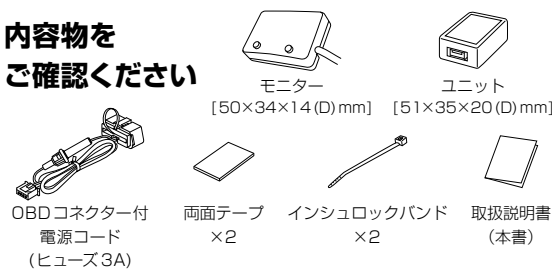
W-Temp RPM VOLTAGE

この度はPIVOT 製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
この説明書はよくお読みいただき、ご理解のうえで装着・使用してください。
なお、本書は大切に保管してください。

<p>警告 下記内容無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●換気の悪い場所で作業しない 排気ガス中毒や引火等で人体への危険があります。 ●コードの被ふくを傷付けない ショート・接触不良等による火災、通信不具合による電装部品・エンジン・車輛破損の危険があります。 ●運転中に操作をしない 運転中の製品操作や表示確認は事故の原因となりますので、安全に十分配慮してご使用ください。 ●製品の固定、配線処理は確実に 製品固定や配線処理は、運転の支障や接触不良とならない状態にしてください。 	<p>注意 下記内容無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性と製品その他に物質的損害が発生する可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●DC12V車で使用する 本製品はDC12V車用です。それ以外の電圧のクルマには装着できません。 ●装着直後は製品に強い力を加えない 両面テープで製品を固定した直後は、はげやすくなっています。ご注意ください。 ●高温となる場所や水のかかる場所には装着しない 故障の原因となります。 ●薬品類は使用しない ゴミ・汚れが付着した場合は、やわらかい布などで丁寧にふき取ってください。アルコール・シンナー・ベンジンなどの薬品類は使用しないでください。 ●ネジ・部品は元の状態に戻す ●まぶしく感じる場所には装着しない ●加工・分解および改造をしない
---	--

1. ECUが純正品と異なる場合やサブコンなどをご使用の場合、対応車でも適正表示しないため、対応不可です。
2. 他社の故障診断コネクタを利用する製品との併用はできません。
3. 故障診断コネクタを利用するPIVOT 製品との併用については、こちらをご確認ください。⇒ <https://pivotjp.com/obd/>

内容物をご確認ください



特長

DMCは、故障診断コネクタに差し込むだけでCAN通信を解析し、水温・エンジン回転・電圧の3種類を切替表示できるモニターです。

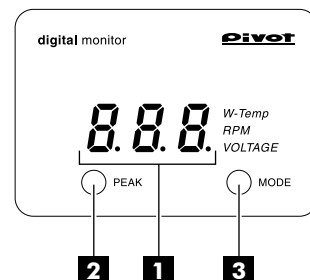
簡単装着で水温、エンジン回転、電圧を表示するデジモニ。

薄型モニターで幅広い車種に装着可能。

複数表示	水温・エンジン回転・電圧を切替表示。
簡単装着	故障診断コネクタへカプラー-onの簡単装着。
薄型モニター	14 mmの薄型フラットデザインで違和感のない装着。
ピークホールド	ピーク値を記憶して表示。

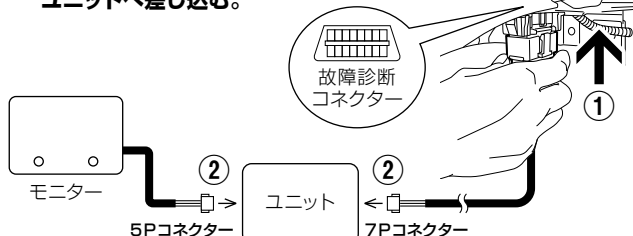
各部の名称

- 1 表示部**
水温、エンジン回転、電圧を表示します。
- 2 PEAK スイッチ**
ピーク値の表示とリセットに使用します。
- 3 MODE スイッチ**
表示モードの切り換えに使用します。



配線接続方法

- 1 OBDコネクタを故障診断コネクタに差し込む。
- 2 モニターの5Pコネクタと電源コードの7Pコネクタをユニットへ差し込む。



！ OBD 製品の併用について

本製品を3-driveシリーズ(FLAT、COMPACT)、PROGAUGEシリーズと併用する場合、別売のOBD2配線キット(OBD-EH ¥3,200・税別)を使用すると簡単に取り付けられます。製品の併用についての詳細は、こちらをご覧ください。

⇒ <https://pivotjp.com/obd/>

※本製品と上記の製品を併用する場合は、それぞれの対応車に該当する車種のみとなります。

【資料】故障診断コネクタ位置図

	<ol style="list-style-type: none"> 1 アクセルペダル脇 2 運転席足元右側(フタ付の場合あり) 3 運転席足元中央 4 運転席足元左側(フタ付の場合あり) 5 センターコンソール右脇 6 助手席足元右側 7 ステアリング脇パネル裏(フタ付) 8 助手席足元左側 9 センターコンソール左側 10 ステアリング右パネル(小物入れ上部) 																
<table border="1"> <tr> <td>トヨタ</td> <td>①②③④⑦</td> <td>マツダ</td> <td>②④⑩</td> </tr> <tr> <td>ニッサン</td> <td>①②③④⑤⑦</td> <td>スバル</td> <td>②③</td> </tr> <tr> <td>ホンダ</td> <td>②④⑤⑥⑧⑨</td> <td>スズキ</td> <td>②④</td> </tr> <tr> <td>三菱</td> <td>②③④⑤</td> <td>ダイハツ</td> <td>②③④⑤</td> </tr> </table>	トヨタ	①②③④⑦	マツダ	②④⑩	ニッサン	①②③④⑤⑦	スバル	②③	ホンダ	②④⑤⑥⑧⑨	スズキ	②④	三菱	②③④⑤	ダイハツ	②③④⑤	
トヨタ	①②③④⑦	マツダ	②④⑩														
ニッサン	①②③④⑤⑦	スバル	②③														
ホンダ	②④⑤⑥⑧⑨	スズキ	②④														
三菱	②③④⑤	ダイハツ	②③④⑤														

【参考】OBDコネクタ取扱時の注意点

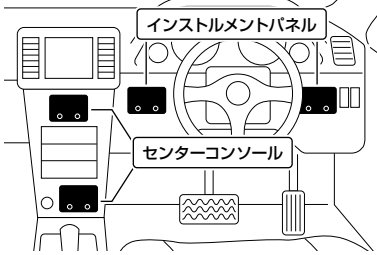
<p>差し込み時・抜き取り時は、この凸部を持ってください。</p>	<p>注意 コネクタ抜き取り時、コードを持って引き抜くのは絶対におやめください。断線の恐れがあります。</p>
<p>凸部を握れない場合</p> <p>車種によっては、コネクタが奥まで入っていて、凸部を握れない場合があります。</p>	<p>その場合は、インシュロックバンドの輪の部分を持って引き抜いてください。</p>

製品の固定

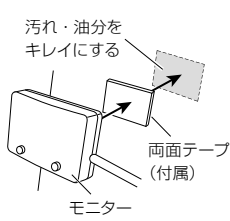
●モニターの取り付け

操作しやすく表示の見やすい場所に両面テープで固定してください。

(装着場所例)



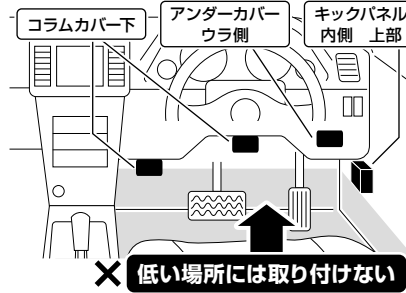
(装着方法)



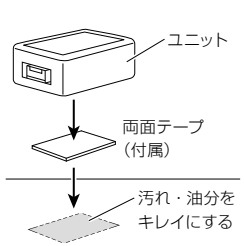
●ユニットの取り付け

水がかからない場所に両面テープで固定してください。

(装着場所例)



(装着方法)



⚠ 配線はテープなどで収納してください。

使用中に配線がからまると運転操作に支障をきたします。
また、コードが挟み込まれると、ショートなどの原因となり、大変危険です。

操作方法

CAN通信解析のため、エンジン始動から表示が点灯するまで最長5秒かかる場合があります。
また、ECU電源に連動しているため、車種によってはエンジン停止から表示が消えるまで最長3分かかる場合がありますが、正常な動作です。

表示範囲と表示の見かた

水温 表示範囲：-35～150℃
表示単位：1℃

-35～-1℃ 0～99℃ 100～150℃
- 00 00℃ 100

左の7セグが 右の7セグが 数値のみの
-(マイナス)表示 c表示 表示

エンジン回転 表示範囲：0～9,900rpm
表示単位：100rpm

右の7セグが r 表示 00r

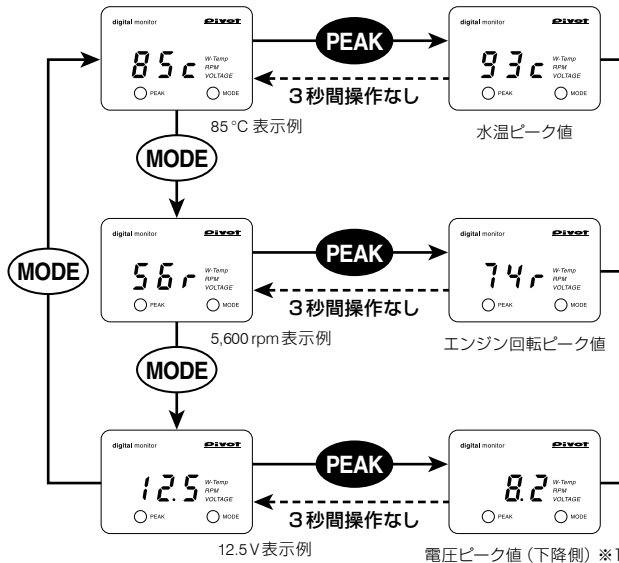
電圧 表示範囲：8～18V
表示単位：0.1V

中央の7セグのドットが表示 00.0

※一部車種では電圧が表示できません。
詳細は対応車表をご確認ください。

リアル表示 (点灯)

MODEスイッチを押すと表示モードが切り換わります。



ピーク表示 (点滅)

リアル表示中、PEAKスイッチを押すと各ピーク値を表示します。
※各ピーク値は、キーOFFでリセットされます。

ピーク値リセット
※表示している項目のみリセットされ、リアル表示に戻ります。

※1 スターター作動時の下降電圧を確認したい場合は、キーをONにし、モニター表示後にスターターを作動させてください。

故障と思われるまでに

症状	原因	対策
エンジン始動で動作しない。	5Pコネクタ、7Pコネクタ、OBDコネクタの接続不良。	再度ご確認ください。
	対応外の車種に取り付けている。	対応車種表をご確認ください。
始動時、切り換えたモードから始まらない。	モード切り換え後3秒以内にエンジンを停止すると、設定は記憶されません。3秒以上経ってからエンジンを停止してください。	
表示が純正メーターや他のメーターとズれる。	本製品の各表示数値はクルマ側のECUの情報で、一部車種で純正メーターや他のメーターと誤差が生じる場合があります。	